

種差天然芝生地

種差天然芝生地は、淀の松原を抜けたところにあります。種差海岸の岩礁に沿って約 7 ヘクタールにわたって広がるこの芝生地は、おそらく、かつてこの地域を覆っていた広大な放牧地の様子が最もよくかがえる場所です。昔はここで草を食んでいた馬たちが芝生を短く滑らかな状態に保てていましたが、現在は地域の人たちが手入れをしています。

暖かい季節には、ここでキャンプやバーベキュー、週末の早朝ヨガ教室など、様々なアウトドアアクティビティが行われます。満月の夜には、水面で反射した月の光が海岸に向かって道のように映し出される「月の道」と呼ばれる現象が起こります。また、この地域のあちらこちらでゼンテイカ（英名 Day Lily, 学名 *Hemerocallis esculenta*）などの季節の花々が見られます。この場所で時折見られるモグラ（*Mogera imaizumii*）が掘ったトンネルは、実は芝生地を健康に保つのに役立っています。秋がくると草が枯れ始め、冬になると、この地域は時折雪に覆われます。

種差海岸インフォメーションセンターは、種差芝生地前にあります。センターの中には、種差海岸とみちのく潮風トレイルの自然や文化について学べる様々なインタラクティブ展示があります。また、カフェもあります。